

# 令和4年度

## 「若者の県内定着・回帰の促進に向けた 県外進学者の県内企業への就職に係る実態調査」

### 調査結果

#### 目次

<b>I 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1. 調査の目的.....	1
2. 調査内容.....	1
(1) 県外進学者の県内企業への就職に係る実態調査.....	1
(2) 県内企業に就職した県外進学者等に係る実態調査.....	2
3. 調査業務フロー.....	3
4. 報告書の見方.....	3
<b>II 調査結果</b> .....	<b>4</b>
1. 回答者の属性.....	4
問1 性別【SA】.....	4
問2 進学先・学年【SA】.....	4
問3 学んでいる分野【SA】.....	5
問4 卒業した高校の所在地(地域)【SA】.....	5
問5 現在の進学先の所在地【SA】.....	5
2. 山形県内企業への就職やUターン意向について.....	6
問6 就職(起業)を考えている地域【SA】.....	6
問7 山形県内での就職を希望する理由【MA】.....	8
問8 山形県内へのUターンを希望しない理由【FA】.....	12
問9 将来的なUターン【SA】.....	14
問10 山形県内へUターンするために必要な条件・環境【MA】.....	16
問11 山形県内企業のイメージ【MA】.....	20
問12 必要としている情報【FA】.....	23
3. 就職活動について.....	27
問13 山形県内企業の情報を得る方法・手段【MA】.....	27
問14 山形県内企業への就職活動における課題・苦勞【MA】.....	32
問15 仕事や企業を選ぶ際の軸【MA】.....	36

# I 調査の概要

---

## 1. 調査の目的

本調査は、県内高等学校から高等教育機関に進学した者（以下「進学者」とし、このうち特に県外の高等教育機関に進学した者を「県外進学者」という。）の県内企業への就職に係る実態等について調査・分析を行うことにより、今後の若者の県内定着・回帰の促進に向けた施策検討の基礎資料とすることを目的としている。

## 2. 調査内容

### (1) 県外進学者の県内企業への就職に係る実態調査

#### ① 対象者

県外進学者

#### ② 調査手法

- 山形県電子申請サービス「やまがた e 申請」を利用したオンラインアンケート
- 上記アンケート回答者の一部へのオンラインによる聞き取り

#### ③ 調査項目

本調査の目的を踏まえ、アンケートにおける調査項目は以下のとおりとした。  
聞き取りでは対象者の回答を基に、その内容の詳細などを調査している。

調査項目	調査内容
回答者の属性	<ul style="list-style-type: none"><li>性別</li><li>進学先・学年</li><li>学んでいる分野</li><li>卒業した高校の所在地（地域）</li><li>現在の進学先の所在地</li></ul>
山形県内企業への就職やUターン意向	<ul style="list-style-type: none"><li>就職（起業）を考えている地域</li><li>山形県内での就職を希望する理由</li><li>山形県内へのUターンを希望しない理由</li><li>将来的なUターン</li><li>山形県内へUターンするために必要な条件・環境</li><li>山形県内企業のイメージ</li><li>必要としている情報</li></ul>
就職活動	<ul style="list-style-type: none"><li>山形県内企業の情報を得る方法・手段</li><li>山形県内企業への就職活動における課題・苦勞</li><li>仕事や企業を選ぶ際の軸</li></ul>
インタビュー取材の可否	<ul style="list-style-type: none"><li>オンラインインタビューの意向確認</li></ul>

#### ④調査期間

- ・ オンラインアンケート 令和4年8月31日から10月7日まで実施
- ・ インタビュー調査 令和4年11月14日から22日までの間に実施

#### ⑤回答者数

- ・ オンラインアンケート 162名 うち県外進学者は141名
- ・ インタビュー調査 6名

### (2)県内企業に就職した県外進学者等に係る実態調査

#### ①対象者

県内出身で、県外大学に進学後、県内企業に就職した方  
(入社後、概ね3年以内のいわゆる正社員)

#### ②調査手法

対象者への対面またはオンラインによる聞き取り

#### ③調査項目

本調査の目的を踏まえ、調査項目は以下のとおりとした。

調査項目	調査内容
入社後の仕事内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 入社後に普段してきた仕事の内容</li></ul>
Uターン就職全般について	<ul style="list-style-type: none"><li>・ Uターン就職検討の経過、状況</li><li>・ Uターン就職の理由（きっかけ）</li><li>・ 仕事や企業を選ぶ際に考慮に入れたこと</li><li>・ 就職活動で県内企業の情報を得るため利用した方法・手段等</li></ul>
Uターン後等の意識、認識について	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 県外に出て気付いた“山形県の良さ”について</li><li>・ Uターンして良かったこと、良くなかったことなどの評価、認識</li><li>・ Uターン就職して、仕事について感じたことや、仕事を通じて感じたこと</li><li>・ 山形県（地元）への愛着や、今後も住み続けることへの意向など</li></ul>
Uターン促進に対する意見等	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 山形県内へUターン就職するために必要な条件・環境についての意見</li><li>・ 県内へのUターン促進のために必要とされる仕事、職種、業種の拡充についての意見</li></ul>

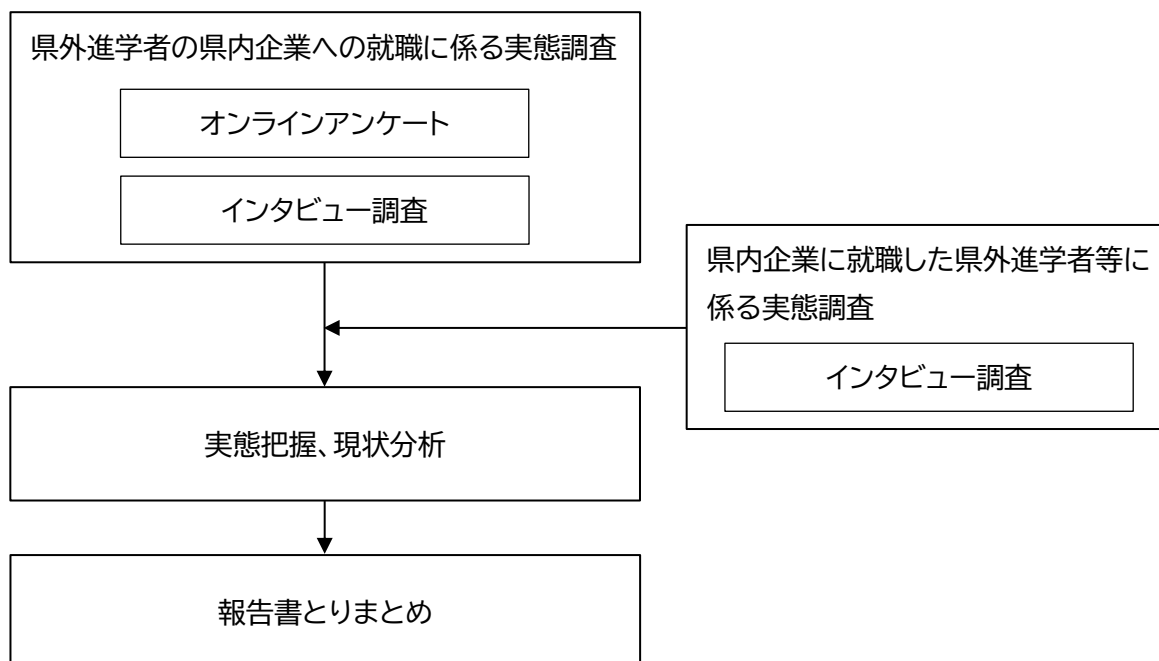
#### ④調査期間

令和4年12月22日から令和5年2月6日までの間に実施

#### ⑤協力者数

5社 計6名

### 3. 調査業務フロー



### 4. 報告書の見方

- ・ S A (Single Answer の略) は単一回答を、MA (Multiple Answer の略) は複数回答を、F A (Free Answer の略) は自由記述をそれぞれ表す。
- ・ 図表の中の n (number of cases の略) とは、回答者総数のことである。
- ・ 調査結果について、調査の趣旨を踏まえ、県外進学者 (n=141) をベースとする。
- ・ 回答の構成比は百分率であらわし、小数点第 2 位を四捨五入して算出している。したがって、単一選択式の質問においては、回答比率を合計しても 100.0%にならないことがある。また、回答者が 2 つ以上の回答をすることができる多肢選択式の設問においては、各設問の回答件数を基数として算出するため、全ての選択肢の比率を合計すると 100.0%を超える。
- ・ 一部の設問においては「非該当」を省略しているため、回答者数が合致しない場合がある。
- ・ 集計表・グラフ及び文章中では、選択肢の語句を一部簡略化してあらわしている場合がある。
- ・ クロス集計について、設問によっては母数が少ない場合もあり、参考として示している。
- ・ 設問のうち、「卒業した高校の所在地 (地域)」については、全日制課程の普通科及び理数科における通学区域を参考に区分している。

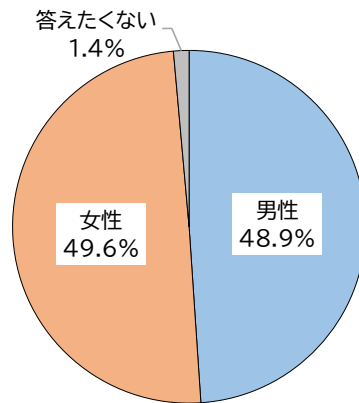
通学区域	本調査
東学区・北学区	村山・最上
南学区	置賜
西学区	庄内

## II 調査結果

---

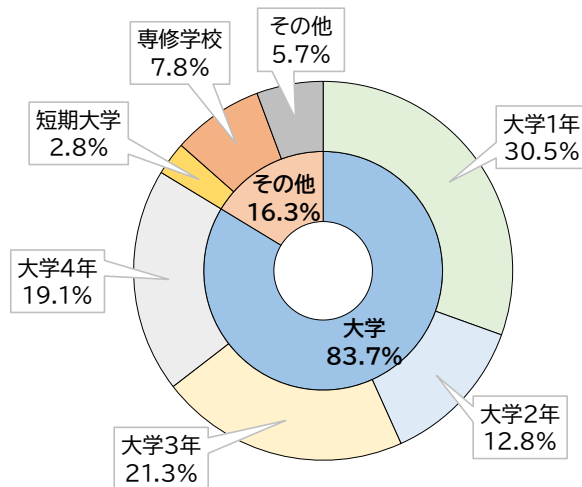
### 1. 回答者の属性

#### 問1 性別【SA】



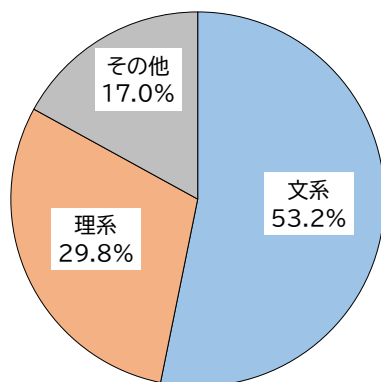
(n=141)

#### 問2 進学先・学年【SA】



(n=141)

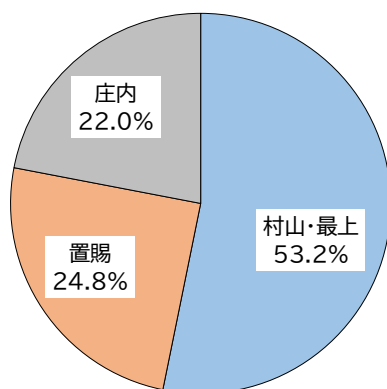
問3 学んでいる分野【SA】



その他内訳	件数
医療系(看護、歯科、スポーツ医療を含む)	9
芸術・デザイン系	4
調理関係(パティシエ、食品製造等)	4
体育系	3
音楽	1
音響	1
美容	1
福祉系	1
航空整備	1
栄養	1

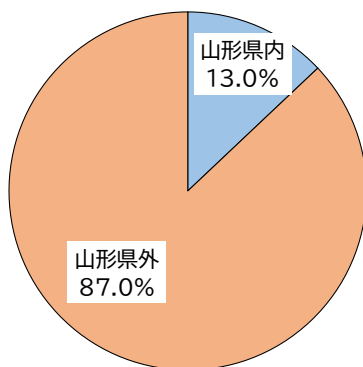
(n=141)

問4 卒業した高校の所在地(地域)【SA】



(n=141)

問5 現在の進学先の所在地【SA】

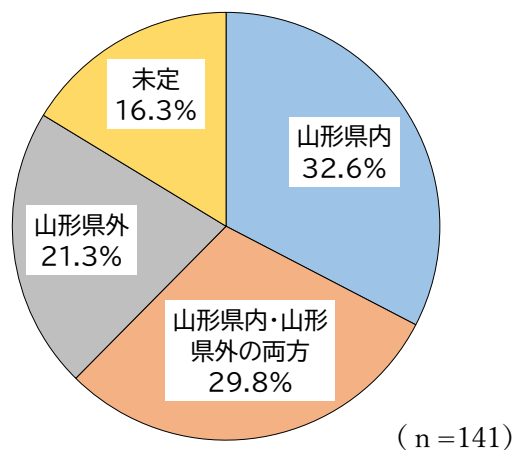


(n=162)

## 2. 山形県内企業への就職やUターン意向について

### 問6 就職(起業)を考えている地域【SA】

問 卒業後に就職(起業)を考えている地域についてお答えください。(1つ選択してください)  
 また、「山形県内・山形県外の両方で考えている」又は「山形県外」を選んだ場合には、山形県以外で考えている都道府県名を記入してください。



	県内・県外の両方	山形県外
回答者計	42	30
北海道	3	
宮城県(仙台市)	15	3
福島県	4	1
東北	2	
茨城県	2	
栃木県	1	
埼玉県	3	
千葉県	2	2
東京都	19	18
神奈川県	5	6
関東(東京圏、東京近辺)		5
新潟県	5	1
石川県	1	1
京都府		1
大阪府	1	
航空関係の職がある県	1	
海外	1	

※複数回答のため、回答者数と回答の合計は合わない。

就職(起業)を考えている地域について、「山形県内」(32.6%)、「山形県内・山形県外の両方」(29.8%)、「山形県外」(21.3%)の順となっている。また、「未定」(16.3%)との回答も一定の割合を占める。

県内を選択肢に入れて考える人の割合(「山形県内」と「山形県内・山形県外の両方」の合計、以下同じ)は62.4%となっている。

「山形県内・山形県外の両方」と回答した人について、山形県以外で考えている都道府県名は、東京都や宮城県が多く、このほか、神奈川県、新潟県、福島県などを挙げている。同じく、「山形県外」と回答した人は、東京都が多く、このほか、神奈川県、関東(東京圏・東京近辺)などを挙げている。

上段:件数 下段:構成比(%)		合計	問6 就職(起業)を考えている地域(SA)			
			山形県内	山形県内・山形県外の両方で考えている	山形県外	未定
県外進学者		141 100.0	46 32.6	42 29.8	30 21.3	23 16.3
進学先	大学生	118 100.0	42 35.6	34 28.8	23 19.5	19 16.1
	1・2年生	61 100.0	18 29.5	20 32.8	9 14.8	14 23.0
	3・4年生	57 100.0	24 42.1	14 24.6	14 24.6	5 8.8
	その他	23 100.0	4 17.4	8 34.8	7 30.4	4 17.4
性別	男性	69 100.0	18 26.1	24 34.8	18 26.1	9 13.0
	女性	70 100.0	27 38.6	18 25.7	11 15.7	14 20.0
卒業した高校の所在地(地域)	村山・最上	75 100.0	21 28.0	24 32.0	19 25.3	11 14.7
	置賜	35 100.0	11 31.4	7 20.0	9 25.7	8 22.9
	庄内	31 100.0	14 45.2	11 35.5	2 6.5	4 12.9
学んでいる分野	文系	75 100.0	26 34.7	22 29.3	15 20.0	12 16.0
	理系	42 100.0	12 28.6	13 31.0	8 19.0	9 21.4
	その他	24 100.0	8 33.3	7 29.2	7 29.2	2 8.3
(参考) 県内進学者を含む全体		162 100.0	61 37.7	44 27.2	31 19.1	26 16.0

大学生を学年別にみると、「山形県内」では「3・4年生」が42.1%、「1・2年生」が29.5%で「3・4年生」が12.6ポイント上回っている。また、「山形県外」では「3・4年生」が24.6%、「1・2年生」が14.8%で「3・4年生」の割合が「1・2年生」より高くなっている。就職活動を行っている学生が多い「3・4年生」は志望エリアがより明確となっていることがうかがわれる。県内を選択肢に入れて考える人の割合は、「1・2年生」が62.3%、「3・4年生」が66.7%となっている。

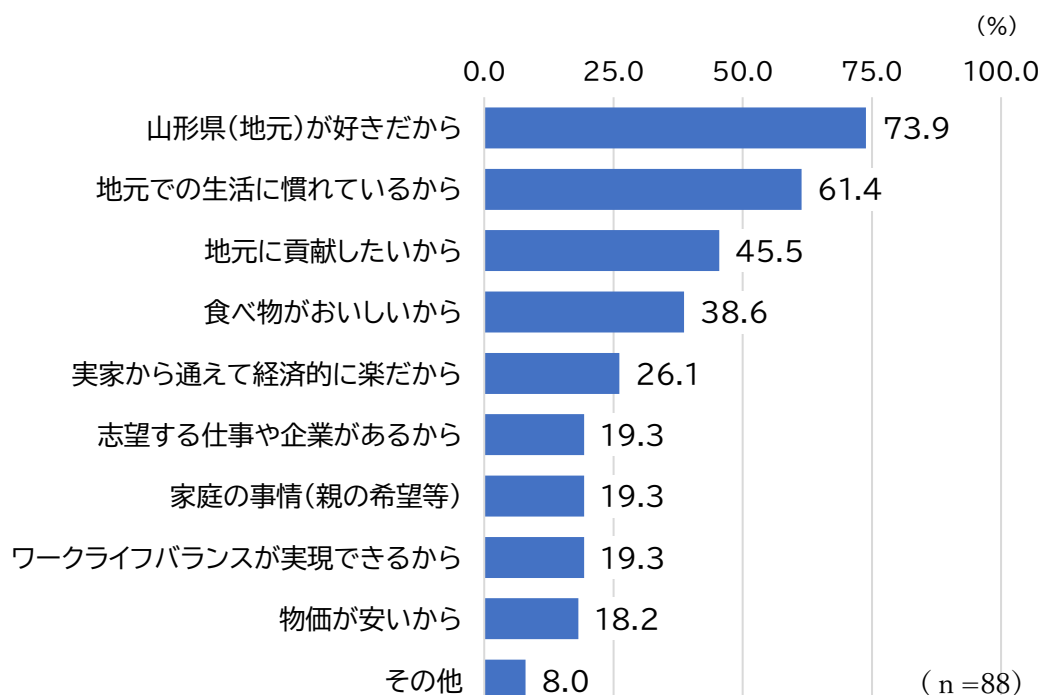
性別でみると、「山形県内」では「女性」が38.6%、「男性」が26.1%で「女性」が12.5ポイント上回っている。一方、「山形県外」では「男性」が26.1%、「女性」が15.7%で「男性」が10.4ポイント上回っている。県内を選択肢に入れて考える人の割合は、「男性」が60.9%、「女性」が64.3%となっている。

卒業した高校の所在地別にみると、「山形県内」では「庄内」が45.2%で他地域より13ポイント以上、上回っている。県内を選択肢に入れて考える人の割合は、「村山・最上」が60.0%、「置賜」が51.4%、「庄内」が80.7%となっている。



## 問7 山形県内での就職を希望する理由【MA】

問 問6で「山形県内」、「山形県内・山形県外の両方で考えている」と回答した方にうかがいます。山形県内での就職を希望する理由を以下の選択肢の中からお答えください。(複数選択可) また、「その他」の場合は下欄に自由にお書きください。



### その他の内容

- ・ 家族に何かあった時にすぐに駆けつけたいから
- ・ 県から奨学金を借りているから/奨学金返済の支援があるから
- ・ 山形に社会福祉士が少ないと感じるから
- ・ 親が企業を経営をしていることに加え、米沢市が好きで貢献したいから
- ・ 地元を守りたいから

山形県内での就職を希望する理由は、「山形県(地元)が好きだから」(73.9%)の割合が最も高く、次いで「地元での生活に慣れているから」(61.4%)、「地元で貢献したいから」(45.5%)などとなっている。一方、「志望する仕事や企業があるから」は19.3%で、地元への愛着や生活面、地域貢献が高く、仕事面は低い傾向がうかがわれる。

上段:件数 下段:構成比(%)	合計	問7 山形県内での就職を希望する理由 (MA) ※問6で「山形県内」or「山形県内・山形県外の両方」を選択											
		が山形県(地元)が好きだから	企業がある仕事や志望があるから	地元での生活に慣れているから	家庭の事情(親の希望等)	実家から通えて経済的に楽だから	物価が安いから	食べ物がおいしいから	ワークライフバランスが実現できるから	地元へ貢献したいから	その他	非該当	
県外進学者	88 100.0	65 73.9	17 19.3	54 61.4	17 19.3	23 26.1	16 18.2	34 38.6	17 19.3	40 45.5	7 8.0	53	
進学先	大学生	76 100.0	56 73.7	15 19.7	46 60.5	17 22.4	19 25.0	13 17.1	26 34.2	17 22.4	35 46.1	6 7.9	42
	1・2年生	38 100.0	27 71.1	8 21.1	22 57.9	5 13.2	8 21.1	9 23.7	15 39.5	8 21.1	16 42.1	4 10.5	23
	3・4年生	38 100.0	29 76.3	7 18.4	24 63.2	12 31.6	11 28.9	4 10.5	11 28.9	9 23.7	19 50.0	2 5.3	19
	その他	12 100.0	9 75.0	2 16.7	8 66.7	0 0.0	4 33.3	3 25.0	8 66.7	0 0.0	5 41.7	1 8.3	11
性別	男性	42 100.0	33 78.6	10 23.8	22 52.4	4 9.5	9 21.4	5 11.9	15 35.7	6 14.3	20 47.6	3 7.1	27
	女性	45 100.0	31 68.9	7 15.6	32 71.1	12 26.7	14 31.1	11 24.4	18 40.0	11 24.4	19 42.2	4 8.9	25
卒業した高校の所在地(地域)	村山・最上	45 100.0	31 68.9	9 20.0	27 60.0	7 15.6	15 33.3	7 15.6	14 31.1	7 15.6	16 35.6	3 6.7	30
	置賜	18 100.0	14 77.8	2 11.1	10 55.6	4 22.2	4 22.2	3 16.7	8 44.4	4 22.2	11 61.1	4 22.2	17
	庄内	25 100.0	20 80.0	6 24.0	17 68.0	6 24.0	4 16.0	6 24.0	12 48.0	6 24.0	13 52.0	0 0.0	6
学んでいる分野	文系	48 100.0	37 77.1	12 25.0	26 54.2	12 25.0	12 25.0	9 18.8	17 35.4	13 27.1	26 54.2	2 4.2	27
	理系	25 100.0	17 68.0	4 16.0	15 60.0	2 8.0	6 24.0	4 16.0	10 40.0	4 16.0	10 40.0	2 8.0	17
	その他	15 100.0	11 73.3	1 6.7	13 86.7	3 20.0	5 33.3	3 20.0	7 46.7	0 0.0	4 26.7	3 20.0	9
(参考) 県内進学者を含む全体	105 100.0	77 73.3	21 20.0	66 62.9	20 19.0	28 26.7	18 17.1	42 40.0	19 18.1	48 45.7	9 8.6	57	

大学生を学年別にみると、「家庭の事情(親の希望等)」では「3・4年生」が31.6%、「1・2年生」が13.2%で「3・4年生」が18.4ポイント上回っている。

性別でみると、「山形県(地元)が好きだから」では男女ともに6割を超えている。「地元での生活に慣れているから」では「女性」が71.1%、「男性」が52.4%で「女性」が18.7ポイント上回っている。同様に、「家庭の事情(親の希望等)」では「女性」が26.7%、「男性」が9.5%で「女性」が17.2ポイント上回っている。

卒業した高校の所在地別にみると、「地元へ貢献したいから」では「置賜」「庄内」が5割以上と高くなっている。また、「実家から通えて経済的に楽だから」では「村山・最上」が他地域より11ポイント以上、上回っている。

## 【インタビュー調査結果の概要(ポイント)】

### ■ 県外進学者

「山形県(地元)が好きだから」、「地元での生活に慣れているから」と回答した大学生

- ・ まずは山形に戻ることを最優先とし、それを前提にして、自分が興味のある仕事、職を選んでいった。

「地域に貢献したいから」と回答した大学生

- ・ 大学入学前から山形に貢献したいと考えて、大学での学科もそれと関連する学科を選んでおり、山形県での就職は選択肢の一つと捉えている。

「志望する仕事や企業があるから」と回答した大学生

- ・ 志望業種を対象とした就職活動を行う中で、山形なら地元でもあり自分が好きなこと、興味あることができると考え、最終的に山形での就職を決めた。

### ■ Uターン就職者

Uターン就職の理由

- ・ 暮らしの面を優先し、ストレスのない環境で働きたく、実家から通える企業を探した。
- ・ 仕事だけでなく、家族・友人、自然などの環境、ワークライフバランスも優先して考えた。
- ・ 家庭の事情や地元への愛着を前提にして、山形でやりたい仕事があれば良いと考えた。

～関連事項～

#### ○ Uターン就職検討の経過

- ・ 就職希望地域は大学進学時から県内を志向しており、就職活動も県内だけで行った。
- ・ 就活当初は関東でホテルや航空会社を志望したが、コロナ禍の影響を受けたことから、山形に戻って就職活動を行った。
- ・ 大学進学時は東京での就職を志向し、3年次に早期内定を得たものの、東京での暮らしについて考え直し、山形で改めて就職活動を行った。

#### ○ Uターン就職後等の評価

- ・ 良い意味で静かであり、時間の流れが自分のペースと合う。
- ・ 山形は人の温かさを感じ、リラックスでき、自分らしくいることができる。
- ・ 土地が広く混雑もなく、のんびり過ごせる。
- ・ 仕事先が見慣れた町だったり、知り合いだったり、その様な部分において地元で働くことにやりがいを感じている。

#### ○ Uターンして良かったこと

- ・ 家族と一緒に暮らせることや友人と会えること、実家暮らしで一人より負担が少ないこと。

- 親や周りの人との関係性など生活環境、仕事でも自分のやりたいことができ人間関係も良い。
- 家族も含め頼れる人が近くにおり、仕事のことなどですぐに相談できる環境がある。

○ Uターンして良くなかったこと

- 東京や仙台で就職した友人と比べて、給料が低いこと。
- 交通の便が車以外では不自由、朝の通勤など雪の多さは大変。
- オンラインでの仕事環境が整っていない顧客が多く、事前のイメージと違った。

## 問8 山形県内へのUターンを希望しない理由【FA】

問 問5、6の両方で「山形県外」と回答した方にうかがいます。

山形県内へのUターンを希望しない理由をお答えください。下欄に自由にお書きください。

回答の趣旨	件数
志望する業種・職種がない	12
希望する給与水準にない	5
自分が望む経験を積めない	4
まちに活気がない、魅力や将来性を感じない	3
プライベートに関すること	3
交通の便が悪く、暮らしにくい	1
その他	2

山形県内へのUターンを希望しない理由について、県内には「志望する業種・職種がない」が多く、このほか、「希望する給与水準にない」、「自分が望む経験を積めない」などを挙げている。

回答の主なものは以下のとおりであった。

### <志望する業種・職種がない>

- 希望する職種、規模の仕事が県内では見つけづらい、数が少ない。
- スポーツトレーナーになりたいが、山形には有名なジムなどがあまりないため。
- 弁護士を志しているが、入所したい事務所が山形にない。ライフステージにあわせてUターンすることがあるかもしれないが、当面は東京で働くつもりである。
- 東京の方がより多い選択肢がある。

### <希望する給与水準にない>

- 山形は低賃金で県としての魅力が少なく、せっかく上京したため、東京で就職希望し、内定をいただいた。
- 志望業種、希望する給与水準に適う企業がないため、山形県内での就職は考えていない。

### <自分が望む経験を積めない>

- より高度な医療を学ぶために就職先が大きな大学病院になるように進学したため新採では県内ではなく東京で就職したいから。
- 山形よりも都心の方がやりたいことを実現できる可能性が高いため。
- 一度県外で学んでから県内に就職したいため。
- 技術が高い場所で学びたい。

<まちに活気がない、魅力や将来性を感じない>

- まちの発展度・将来性が足りないから
- 企業、住む場所としての魅力が劣っているため。
- 山形には活気がない。若者にとって魅力が少ない。

## 【インタビュー調査結果の概要(ポイント)】

### ■ 県外進学者

回答趣旨の「志望する業種・職種がない」、「希望する給与水準にない」、「自分が望む経験を積めない」の内容などについて、以下のような話があった。

- 大学での専攻を活かせる企業の東京本社での専門職などを検討し、専門性の高い事業所関連サービス業の企業に決めたが、希望する職種や給与水準からみて大都市圏以外では難しい。
- 全国的な知名度を有する大企業で、全国規模の大きな仕事をしたいと考えており、これらを県内で探すことは難しい。
- 家業が自営業であり、様々な人と関われる東京で一旦就職して経験を積み、将来的に地元に戻り、家業を継ぎたいと考えている。

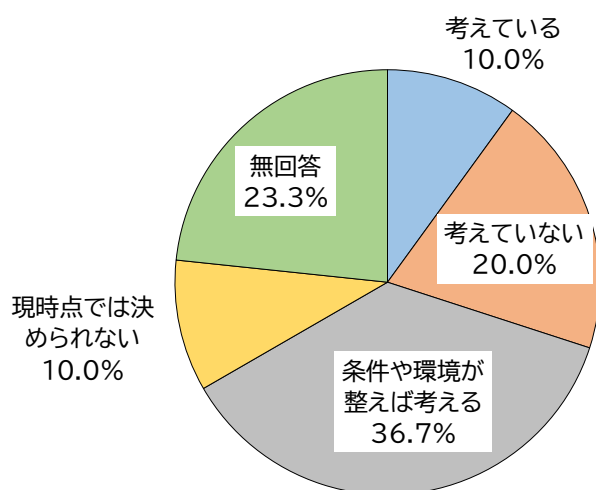
このほか、採用活動の時期や文系の採用などの点から、以下のような話もあった。

- 専攻を活かせる企業を県内でも探し、マッチした県内企業もあったが、選考時期が東京の企業より遅く、大学所定の研究活動とも時期が重なり、その企業の就職活動は見送った。
- 県内の製造業系の企画職を対象に就職活動を行ったが、東京のメーカーでは文系理系の双方とも集まるのに、山形では理系ばかりで、文系は極めて少なかった。

### 問9 将来的なUターン【SA】

問 問8に回答した方に引き続きうかがいます。

将来的に山形県内へのUターンは考えていますか。



(n=30)

将来のUターン意向について、「条件や環境が整えば考える」(36.7%)の割合が最も高く、これに、「考えていない」(20.0%)が次いでいる。以下、「考えている」(10.0%)、「現時点では決められない」(10.0%)となっている。

上段:件数 下段:構成比(%)		合計	問9 将来的なUターン (SA) ※問5、問6で「山形県外」を選択					非該当
			考えている	考えていない	整条件や環境が ええば考えるが	決現時点ではない	無回答	
県外進学者		30 100.0	3 10.0	6 20.0	11 36.7	3 10.0	7 23.3	111
進学先	大学生	23 100.0	3 13.0	6 26.1	6 26.1	3 13.0	5 21.7	95
	1・2年生	9 100.0	1 11.1	3 33.3	2 22.2	2 22.2	1 11.1	52
	3・4年生	14 100.0	2 14.3	3 21.4	4 28.6	1 7.1	4 28.6	43
	その他	7 100.0	0 0.0	0 0.0	5 71.4	0 0.0	2 28.6	16
性別	男性	18 100.0	2 11.1	3 16.7	4 22.2	2 11.1	7 38.9	51
	女性	11 100.0	1 9.1	3 27.3	6 54.5	1 9.1	0 0.0	59
卒業した高校の所在地(地域)	村山・最上	19 100.0	0 0.0	5 26.3	9 47.4	3 15.8	2 10.5	56
	置賜	9 100.0	3 33.3	0 0.0	1 11.1	0 0.0	5 55.6	26
	庄内	2 100.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	29
学んでいる分野	文系	15 100.0	3 20.0	3 20.0	5 33.3	2 13.3	2 13.3	60
	理系	8 100.0	0 0.0	2 25.0	2 25.0	0 0.0	4 50.0	34
	その他	7 100.0	0 0.0	1 14.3	4 57.1	1 14.3	1 14.3	17

性別でみると、「条件や環境が整えば考える」では「女性」が54.5%、「男性」が22.2%で「女性」が32.3ポイント上回っている。

#### 【インタビュー調査結果の概要(ポイント)】

##### ■ 県外進学者

「条件や環境が整えば考える」と回答した大学生

- ・ 「志望する仕事・職種に就ける」、「給料や手当、各種休暇など福利厚生が充実した就職先が多くなる」など、問10で回答したような条件や環境が整えば考える。
- ・ Uターンのタイミングは、将来的に家庭を持ち子育ての段階で選択肢に入るかもしれない。

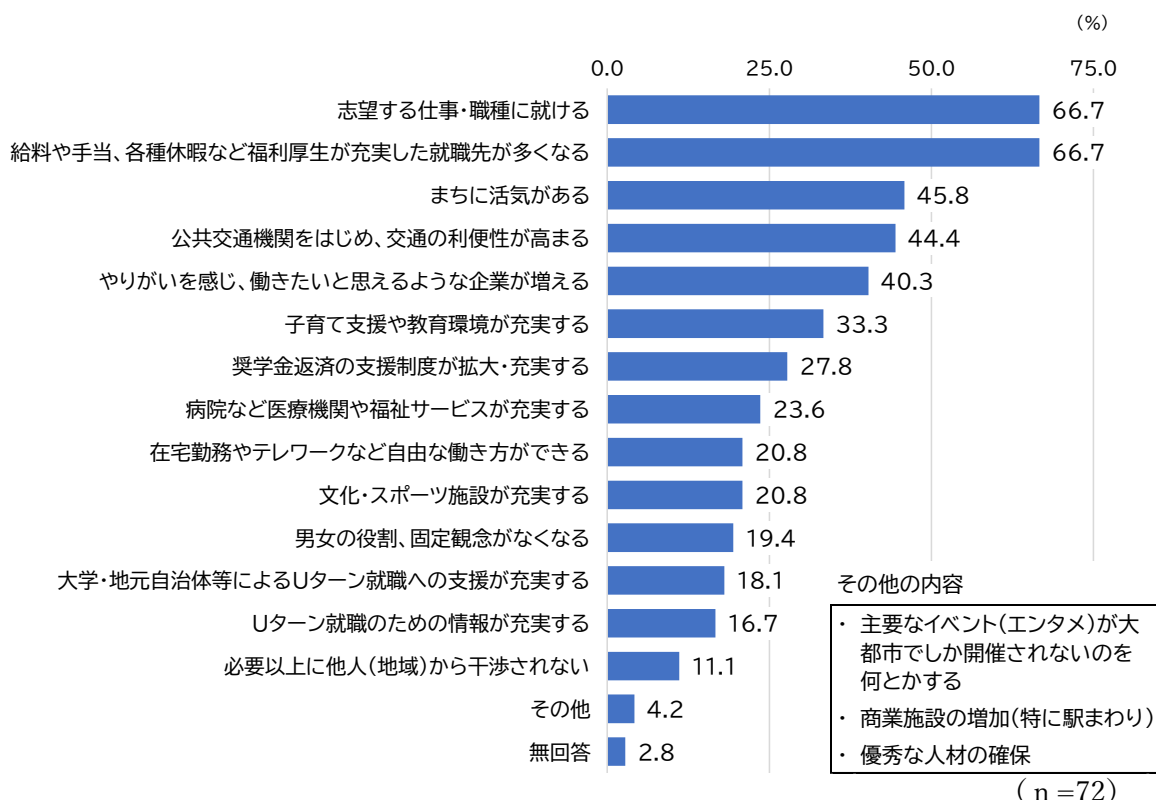


## 問10 山形県内へUターンするために必要な条件・環境【MA】

問 問5で「山形県外」、問6で「山形県外」・「山形県内・山形県外の両方で考えている」と回答した方にうかがいます。

山形県内へUターンするうえで必要だと考える条件や環境について、以下の選択肢の中からお答えください。(複数選択可)

また、「その他」の場合は下欄に自由にお書きください。



Uターンするうえで必要だと考える条件や環境について、「志望する仕事・職種に就ける」と「給料や手当、各種休暇など福利厚生が充実した就職先が多くなる」が共に66.7%で最も高くなっている。次いで「まちに活気がある」(45.8%)、「公共交通機関をはじめ、交通の利便性が高まる」(44.4%)、「やりがいを感じ・働きたいと思えるような企業が増える」(40.3%) などとなっている。

上段:件数 下段:構成比(%)		合計	問10 山形県内へUターンするために必要な条件・環境 (MA) ※問5で「山形県外」、問6で「山形県外」「山形県内・山形県外の両方」を選択																
			志望する仕事・職種に就ける	やりがいを感じ、働きたいと思えるような企業が増える	生が充実した就職先が多くなる	給料や手当、各種休暇など福利厚生が充実した就職先が多くなる	在宅勤務やテレワークなど自由な働き方ができる	Uターン就職のための情報が充実する	大学・地元自治体等によるUターン就職への支援が充実する	奨学金返済の支援制度が拡大・充実する	子育て支援や教育環境が充実する	病院など医療機関や福祉サービスが充実する	文化・スポーツ施設が充実する	まちに活気がある	男女の役割、固定観念がなくなる	必要以上に他人(地域)から干渉されない	公共交通機関をはじめ、交通の利便性が高まる	その他	無回答
県外進学者		72 100.0	48 66.7	29 40.3	48 66.7	15 20.8	12 16.7	13 18.1	20 27.8	24 33.3	17 23.6	15 20.8	33 45.8	14 19.4	8 11.1	32 44.4	3 4.2	2 2.8	69
進学先	大学生	57 100.0	38 66.7	25 43.9	38 66.7	13 22.8	9 15.8	10 17.5	13 22.8	19 33.3	10 17.5	12 21.1	26 45.6	10 17.5	5 8.8	25 43.9	1 1.8	2 3.5	61
	1・2年生	29 100.0	18 62.1	13 44.8	18 62.1	7 24.1	4 13.8	5 17.2	7 24.1	9 31.0	6 20.7	7 24.1	15 51.7	6 20.7	1 3.4	12 41.4	1 3.4	1 3.4	32
	3・4年生	28 100.0	20 71.4	12 42.9	20 71.4	6 21.4	5 17.9	5 17.9	6 21.4	10 35.7	4 14.3	5 17.9	11 39.3	4 14.3	4 14.3	13 46.4	0 0.0	1 3.6	29
	その他	15 100.0	10 66.7	4 26.7	10 66.7	2 13.3	3 20.0	3 20.0	7 46.7	5 33.3	7 46.7	3 20.0	7 46.7	4 26.7	3 20.0	7 46.7	2 13.3	0 0.0	8
性別	男性	42 100.0	28 66.7	14 33.3	26 61.9	8 19.0	5 11.9	6 14.3	10 23.8	13 31.0	7 16.7	6 14.3	20 47.6	5 11.9	4 9.5	14 33.3	1 2.4	2 4.8	27
	女性	29 100.0	20 69.0	15 51.7	22 75.9	6 20.7	6 20.7	7 24.1	9 31.0	10 34.5	9 31.0	8 27.6	12 41.4	8 27.6	3 10.3	17 58.6	1 3.4	0 0.0	41
卒業した高校の所在地(地域)	村山・最上	43 100.0	30 69.8	18 41.9	31 72.1	10 23.3	5 11.6	6 14.0	10 23.3	12 27.9	10 23.3	8 18.6	19 44.2	8 18.6	2 4.7	16 37.2	0 0.0	1 2.3	32
	置賜	16 100.0	11 68.8	7 43.8	8 50.0	4 25.0	2 12.5	5 31.3	3 18.8	8 50.0	3 18.8	3 18.8	7 43.8	2 12.5	3 18.8	7 43.8	1 6.3	1 6.3	19
	庄内	13 100.0	7 53.8	4 30.8	9 69.2	1 7.7	5 38.5	2 15.4	7 53.8	4 30.8	4 30.8	4 30.8	7 53.8	4 30.8	3 23.1	9 69.2	2 15.4	0 0.0	18
学んでいる分野	文系	37 100.0	26 70.3	17 45.9	25 67.6	10 27.0	7 18.9	7 18.9	6 16.2	14 37.8	6 16.2	7 18.9	15 40.5	7 18.9	3 8.1	17 45.9	0 0.0	2 5.4	38
	理系	21 100.0	14 66.7	9 42.9	15 71.4	4 19.0	3 14.3	4 19.0	8 38.1	7 33.3	6 28.6	4 19.0	13 61.9	4 19.0	3 14.3	11 52.4	2 9.5	0 0.0	21
	その他	14 100.0	8 57.1	3 21.4	8 57.1	1 7.1	2 14.3	2 14.3	6 42.9	3 21.4	5 35.7	4 28.6	5 35.7	3 21.4	2 14.3	4 28.6	1 7.1	0 0.0	10

大学生を学年別にみると、「志望する仕事・職種に就ける」では「3・4年生」が71.4%、「1・2年生」が62.1%で「3・4年生」の割合が高くなっている。同様に、「給料や手当、各種休暇など福利厚生が充実した就職先が多くなる」でも「3・4年生」が71.4%、「1・2年生」が62.1%で「3・4年生」の割合が高くなっている。一方、「まちに活気がある」では「1・2年生」が51.7%、「3・4年生」が39.3%で「1・2年生」が12.4ポイント上回っている。

性別でみると、「志望する仕事・職種に就ける」では、男女ともに6割を超えている。また、「公共交通機関をはじめ、交通の利便性が高まる」では「女性」が58.6%、「男性」が33.3%で「女性」が25.3ポイント上回っている。また、「やりがいを感じ、働きたいと思えるような企業が増える」では「女性」が51.7%、「男性」が33.3%で「女性」が18.4ポイント上回っている。このほか、「男女の役割、固定観念がなくなる」では「女性」が27.6%、「男性」が

11.9%で「女性」が15.7ポイント上回っている。

卒業した高校の所在地別にみると、「志望する仕事・職種に就ける」では「村山・最上」「置賜」が6割以上と「庄内」より15ポイント以上、上回っている。また、「給料や手当、各種休暇など福利厚生が充実した就職先が多くなる」では「村山・最上」「庄内」が6割以上と「置賜」より19ポイント以上上回っている。

文理別にみると、「志望する仕事・職種に就ける」では、「文系」「理系」とともに6割を超えている。また、「奨学金返済の支援制度が拡大・充実する」では「理系」が38.1%、「文系」が16.2%で「理系」が21.9ポイント上回っている。このほか、「まちに活気がある」では、「理系」が61.9%、「文系」が40.5%で「理系」が21.4ポイント上回っている。

## 【インタビュー調査結果の概要(ポイント)】

### ■ 県外進学者

#### 「志望する仕事・職種に就ける」と回答した大学生

- ・ 「志望する仕事・職種に就ける」は、最優先である。(対象者全員から同趣旨の話あり)
- ・ 地方に戻りたいが東京で就職するという人は、ITの技術職志望が多かった。
- ・ 業種では山形県は製造業が多いイメージがあるが、本社機能に憧れる学生は多く、それらがあればUターンへのハードルが下がるのではないかと。

#### 「給料や手当、各種休暇など福利厚生が充実した就職先が多くなる」と回答した大学生

- ・ 山形に就職した場合、どの位の収入があり、生活にどれ位かかるのかがわかりやすく、目に見える形であると良い。十分に生活できるという安心感があれば優先したいという人も多い。

#### 「子育て支援や教育環境が充実する」と回答した大学生

- ・ 山形は子育てを母親がするイメージがあるが、若者のUターンには男性の育児参加の環境整備も大事。東京の企業と異なり、山形の企業からはこの点が伝わらなかった。

#### 「文化・スポーツ施設が充実する」と回答した大学生

- ・ 若者が気軽に遊びに行き時間を過ごせる施設があると良い。山形では、暇な時にショッピングセンターしか行き場がなく、東京の文化施設との違いがある。

#### 「公共交通機関をはじめ、交通の利便性が高まる」と回答した大学生

- ・ 公共交通機関は山形に住んでいた時から不便を感じており、地域内での移動などはUターンする際の環境として大事。

## ■ Uターン就職者

### ○ Uターンするために必要な条件・環境

- 人手不足で求人募集をしている県内企業は多いが、その情報発信力が弱いので、職種を増やす前に強化すると良い。
- Uターンの考えをストップさせないよう、まちの活気や公共交通の便利さを失わないことが重要。
- 東京のIT系の企業をみて、山形では、働き方やテレワークが遅れており、移動時間など効率を考えた働き方を柔軟に考えるべき。

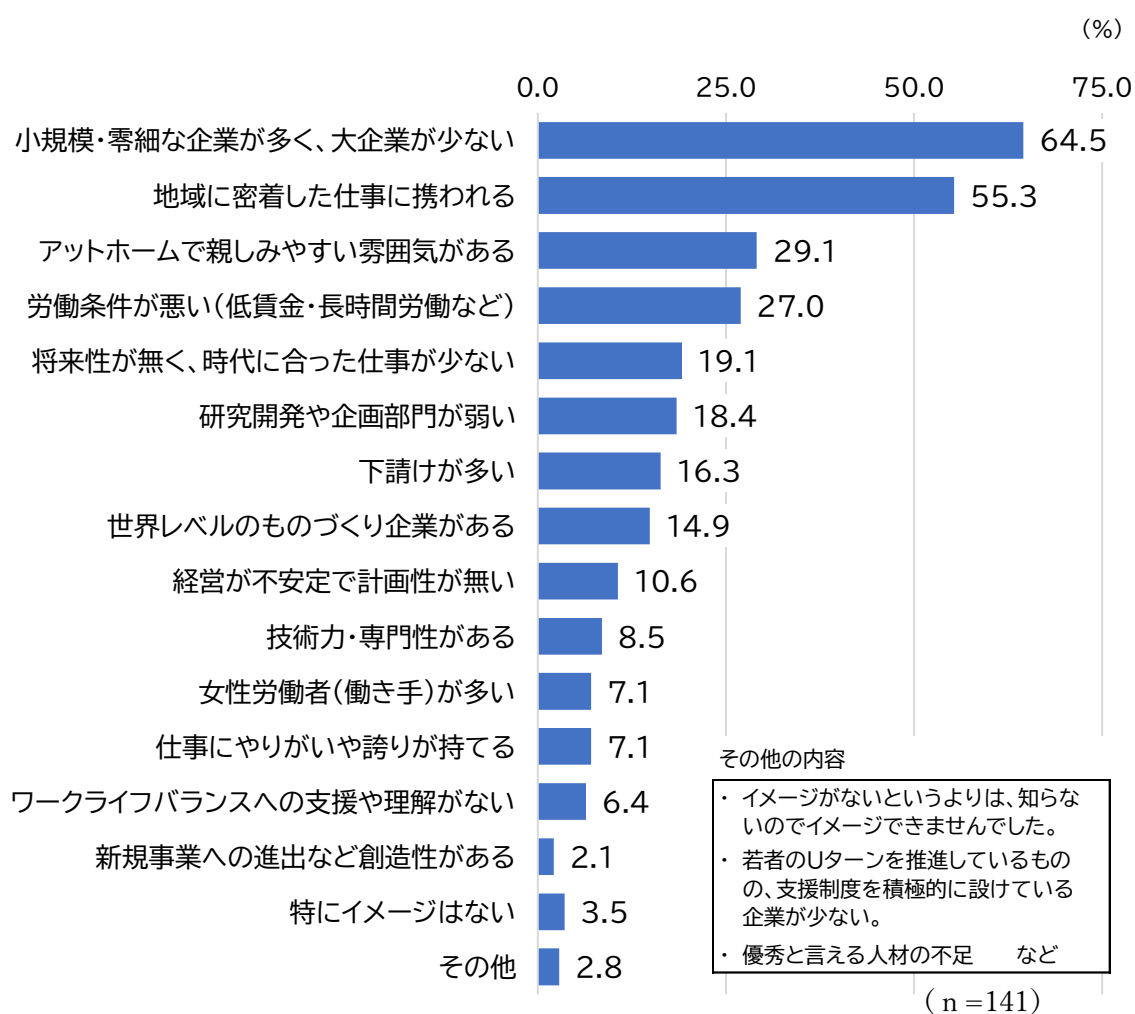
### ○ Uターン促進のために必要な仕事・職種・業種の拡充

- Webサイトの制作や映像系のクリエイターなどクリエイティブな仕事の人気はあるが、山形での選択肢は少ない。
- コンサルティング系、IT系の会社が増えるとよい。
- 看護、介護、外国語、理系など専門性に応じた業種の幅が広くあれば、Uターンを考える学生も増えてくる。
- 業種は各人の志向に応じるので、働きやすい環境など勤務条件について県全体での底上げを目指すべき。

### 問11 山形県内企業のイメージ【MA】

問 山形県内企業についてイメージしていることを以下の選択肢の中からお答えください。(複数選択可)

また、「その他」の場合は下欄に自由にお書きください。



山形県内企業のイメージについて、「小規模・零細な企業が多く、大企業が少ない」(64.5%)の割合が最も高く、次いで「地域に密着した仕事に携われる」(55.3%)、「アットホームで親しみやすい雰囲気がある」(29.1%)、「労働条件が悪い(低賃金・長時間労働)」(27.0%)などとなっている。

上段:件数 下段:構成比(%)	合計	問11 山形県内企業のイメージ (MA)																
		小規模・零細な企業が多く、大企業が少ない	地域に密着した仕事に携われる	研究開発や企画部門が弱い	世界レベルのものづくり企業がある	労働条件が悪い(低賃金・長時間労働など)	技術力・専門性がある	経営が不安定で計画性が無い	新規事業への進出など創造性がある	下請けが多い	アットホームで親しみやすい雰囲気がある	将来性が無く、時代に合った仕事が少ない	女性労働者(働き手)が多い	結婚・育児をはじめ、ワークライフバランスへの支援や理解がない	仕事にやりがいや誇りが持てる	特にイメージはない	その他	
県外進学者	141 100.0	91 64.5	78 55.3	26 18.4	21 14.9	38 27.0	12 8.5	15 10.6	3 2.1	23 16.3	41 29.1	27 19.1	10 7.1	9 6.4	10 7.1	5 3.5	4 2.8	
進学先	大学生	118 100.0	77 65.3	69 58.5	21 17.8	19 16.1	30 25.4	10 8.5	14 11.9	3 2.5	19 16.1	34 28.8	24 20.3	8 6.8	6 5.1	9 7.6	4 3.4	3 2.5
	1・2年生	61 100.0	44 72.1	36 59.0	13 21.3	9 14.8	17 27.9	6 9.8	8 13.1	3 4.9	11 18.0	20 32.8	16 26.2	5 8.2	3 4.9	6 9.8	0 0.0	1 1.6
	3・4年生	57 100.0	33 57.9	33 57.9	8 14.0	10 17.5	13 22.8	4 7.0	6 10.5	0 0.0	8 14.0	14 24.6	8 14.0	3 5.3	3 5.3	3 5.3	4 7.0	2 3.5
	その他	23 100.0	14 60.9	9 39.1	5 21.7	2 8.7	8 34.8	2 8.7	1 4.3	0 0.0	4 17.4	7 30.4	3 13.0	2 8.7	3 13.0	1 4.3	1 4.3	1 4.3
性別	男性	69 100.0	46 66.7	40 58.0	17 24.6	7 10.1	20 29.0	9 13.0	9 13.0	3 4.3	14 20.3	12 17.4	15 21.7	3 4.3	4 5.8	5 7.2	0 0.0	1 1.4
	女性	70 100.0	45 64.3	36 51.4	9 12.9	13 18.6	18 25.7	3 4.3	6 8.6	0 0.0	8 11.4	28 40.0	11 15.7	7 10.0	4 5.7	4 5.7	5 7.1	2 2.9
卒業した高校の所在地(地域)	村山・最上	75 100.0	53 70.7	38 50.7	19 25.3	10 13.3	23 30.7	4 5.3	10 13.3	1 1.3	14 18.7	23 30.7	18 24.0	6 8.0	5 6.7	7 9.3	3 4.0	3 4.0
	置賜	35 100.0	21 60.0	25 71.4	3 8.6	5 14.3	9 25.7	7 20.0	1 2.9	1 2.9	4 11.4	7 20.0	4 11.4	2 5.7	1 2.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	庄内	31 100.0	17 54.8	15 48.4	4 12.9	6 19.4	6 19.4	1 3.2	4 12.9	1 3.2	5 16.1	11 35.5	5 16.1	2 6.5	3 9.7	3 9.7	2 6.5	1 3.2
学んでいる分野	文系	75 100.0	53 70.7	44 58.7	11 14.7	14 18.7	20 26.7	4 5.3	11 14.7	2 2.7	11 14.7	24 32.0	14 18.7	5 6.7	5 6.7	7 9.3	3 4.0	2 2.7
	理系	42 100.0	26 61.9	22 52.4	12 28.6	5 11.9	11 26.2	6 14.3	2 4.8	1 2.4	9 21.4	10 23.8	8 19.0	4 9.5	1 2.4	2 4.8	1 2.4	0 0.0
	その他	24 100.0	12 50.0	12 50.0	3 12.5	2 8.3	7 29.2	2 8.3	2 8.3	0 0.0	3 12.5	7 29.2	5 20.8	1 4.2	3 12.5	1 4.2	1 4.2	2 8.3
(参考) 県内進学者を含む全体	162 100.0	103 63.6	91 56.2	29 17.9	23 14.2	51 31.5	12 7.4	16 9.9	3 1.9	25 15.4	48 29.6	30 18.5	12 7.4	11 6.8	12 7.4	6 3.7	4 2.5	

大学生を学年別にみると、「小規模・零細な企業が多く、大企業が少ない」では「1・2年生」が72.1%、「3・4年生」が57.9%で「1・2年生」が14.2ポイント上回っている。また、「将来性がなく時代に合った仕事が少ない」では「1・2年生」が26.2%、「3・4年生」が14.0%で「1・2年生」が12.2ポイント上回っている。

性別でみると、「小規模・零細な企業が多く、大企業が少ない」では男女ともに6割を超えている。「アットホームで親しみやすい雰囲気がある」では「女性」が40.0%、「男性」が17.4%で「女性」が22.6ポイント上回っている。一方、「研究開発や企画部門が弱い」では「男性」が24.6%、「女性」が12.9%で「男性」が11.7ポイント上回っている。

卒業した高校の所在地別にみると、「地域に密着した仕事に携われる」では「置賜」が71.4%で他地域を20ポイント以上、上回っている。また、「研究開発や企画部門が弱い」では「村山・最上」が25.3%で他地域を12ポイント以上、上回っている。

文理別にみると、「小規模・零細な企業が多く、大企業が少ない」では「文系」「理系」とともに6割を超えている。また、「研究開発や企画部門が弱い」では「理系」が28.6%、「文系」が14.7%で「理系」が13.9ポイント上回っている。

## 【インタビュー調査結果の概要(ポイント)】

### ■ 県外進学者

#### 「小規模・零細な企業が多く、大企業が少ない」と回答した大学生

##### うち、ポジティブな意見

- ・ 小学校で山辺のニット工場について学び、小規模だが専門的な人材が世界に発信しているイメージを持った。「小規模企業」には、ポジティブなイメージを持っている。
- ・ 就職活動で様々な県内企業をみて、大企業は少ないが、地域密着型やものづくり系の企業が多く、その中でトップレベルの技術を持った企業が多いと感じた。

##### うち、ネガティブな意見

- ・ 実力のある企業でも県内の高校生にほとんど知られていない、気づかれていないというようなイメージの無さがみられる。

#### 「労働条件が悪い(低賃金・長時間労働など)」と回答した大学生

- ・ 給料が高くなく、東京の同じ仕事と比べて時給にかなり差があるイメージ。

#### 「将来性が無く、時代に合った仕事が少ない」と回答した大学生

- ・ 県内のIT企業を調べたら少なく、時代に求められる仕事がなかなか無いと感じた。

このほか、積極的に情報発信すべきこと等について、以下のような話があった。

- ・ 技術力や専門性が高いという情報は理系の学生には役立つが、技術力などを活かさない文系学生向けの職種(企画、営業など)にとっては企業の特徴・強みがわからない。
- ・ 今の時代に合った仕事ができる企業が少ないイメージを払拭するような発信をしてほしい。
- ・ 山形には何もないと皆が深く考えずに言っており、そのイメージの改善が必要。
- ・ 山形で働く人のリアルな声を知り、自分も戻る選択肢があると思える情報が必要。

## 問12 必要としている情報【FA】

問 あなたが、今後、山形県内企業への就職やUターンなどを考えるうえで、どのような情報が必要だと思いますか。下欄に自由にお書きください。

回答の趣旨	件数
企業の採用情報	24
うち福利厚生に関すること	(9)
県内企業の情報全般	22
うち職種に関する情報	(10)
情報発信の時期や手段、内容などに関すること	18
生活関連情報	12
インターンシップ・合同企業説明会・就活セミナーなどの情報	11
企業の実情等を知るための社員の話	11
奨学金など各種支援制度に関すること	10
企業の特徴・強みに関する情報	6
山形で就職することの利点	6
その他意見・要望など	5

山形県内企業への就職やUターンなどを考えるうえで必要な情報について、求める人材像や、給与・福利厚生、転勤等の「企業の採用情報」のほか、どのような企業があるのかや、職種、経営概況など「県内企業の情報全般」、「情報発信の時期や手段、内容などに関すること」などを挙げている。

回答の主なものは以下のとおりであった。

### <企業の採用情報>

- どのような人材が欲しいかやどのくらい休暇がとれるかの情報がほしい。
- 職種や取得して欲しい資格などがあれば助かります。
- 地元を意識が向いているので、転勤先についての情報があると良いと思う。
- 給与以外の福利厚生、住宅支援の情報が欲しい。

### <県内企業の情報全般>

- 県内企業でどのようなところがあるのか、特に製造業以外の情報もあると良い。
- 就職に関しては、会社の規模が分かるデータと会社の特徴をまとめたものが欲しい。具体的には、資本金や取引額など、山形県内の企業に限定した就職版の情報誌のようなもの



のがあると良い。

- 就職に関して、分野別にどのような企業や会社があるのかを教えてください。私は国際・言語系を学んでおり、それに関した仕事に就きたいと考えているが、情報があるとありがたい。
- 企業以外（病院等）の就職先に対する情報を拡充してもらいたい。
- 就職に関しては商品開発に携われる仕事の情報が欲しい。商品開発課がある企業などを知りたい。

#### <情報発信の時期や手段、内容などに関すること>

- 高校生くらいの早い段階から様々な企業情報があると良い。親や身内からの情報だけでなく、若者自身が見聞きできる機会があると良い。地元企業でも、社会貢献度が高い企業や世界に誇れる技術を持っている企業があると思うので、このような企業の魅力を感じられるような情報もあると良い。
- 県外進学者にとって、山形県関係の就職情報がなかなか簡単には得られないように感じる。
- もっと早く企業の情報が欲しい。企業説明会など企業の採用活動が正式にスタートする3月は既に意志が固まっていたので、希望としては秋頃までに企業と出会っておきたかった。
- 小さい文字ばかりではない、業界の資料。
- 文系にとって興味を持てる就職活動の情報が欲しい。

#### <生活関連情報>

- 山形市中心街付近での働き方や山形でどのように暮らせるのかを知りたい。
- 生活が楽に送れるようなプラン(家賃など)の情報。
- 実際に山形県内にUターン就職した先輩方の休日の過ごし方を知りたい。

#### <インターンシップ・合同企業説明会・就活セミナーなどの情報>

- インターンシップを行っている企業の情報が欲しい。
- 県内での合同企業説明会などイベントの案内がほしい。オンラインのイベント情報もあると参加しやすい。
- 県内企業での説明会やインターンシップなどの実施が少なく、企業の生の情報を仕入れる機会が無いことが気になった。開催されるのであればそうした情報が欲しい。また、就活のための交通費助成についても、県内企業から案内されて初めて知った。その案内をする企業としない企業とがあり、学生や企業へのより一層の情報提供が必要と思った。

#### <企業の実情等を知るための社員の話>

- 地元企業の働き手の声がかかるデータベースが見たい。例えば、民間情報サイトのうち、社員の口コミを掲載したサイトのようなもの。
- 同じ大学やUターンした年齢の近い先輩によるリアルな声を聞きたい。
- 実際に山形で働いている人の声を聞いてみたい。色々な職種の人から、山形でどのように働き、どう思っているのかを知りたい。

#### <奨学金など各種支援制度に関すること>

- 奨学金返済の支援制度に関する詳細情報がほしい。
- 子育て支援に関する情報や、仕事と子育てを両立する支援に関する情報があると良い。
- Uターンの受入先にどのような企業があるか、支援制度にどのようなものがあるか。

#### <企業の特徴・強みに関する情報>

- それぞれの企業が強みにしているポイントなどの情報が欲しい。
- その会社で働く女性はどのような活躍をしていて、その会社にどのように貢献をしているのか。また、女性にとって、働く環境が優れているかの情報が欲しい。

#### <山形で就職することの利点>

- 関東圏で就職した場合との違い、利点を知りたい。
- ワークライフバランスの充実度（都会との比較など）。

## 【インタビュー調査結果の概要(ポイント)】

### ■ 県外進学者

「企業の採用情報」、「県内企業の情報全般」、「企業の実情等を知るための社員の話」、「その他意見・要望」等の内容などについて、以下のような話があった。

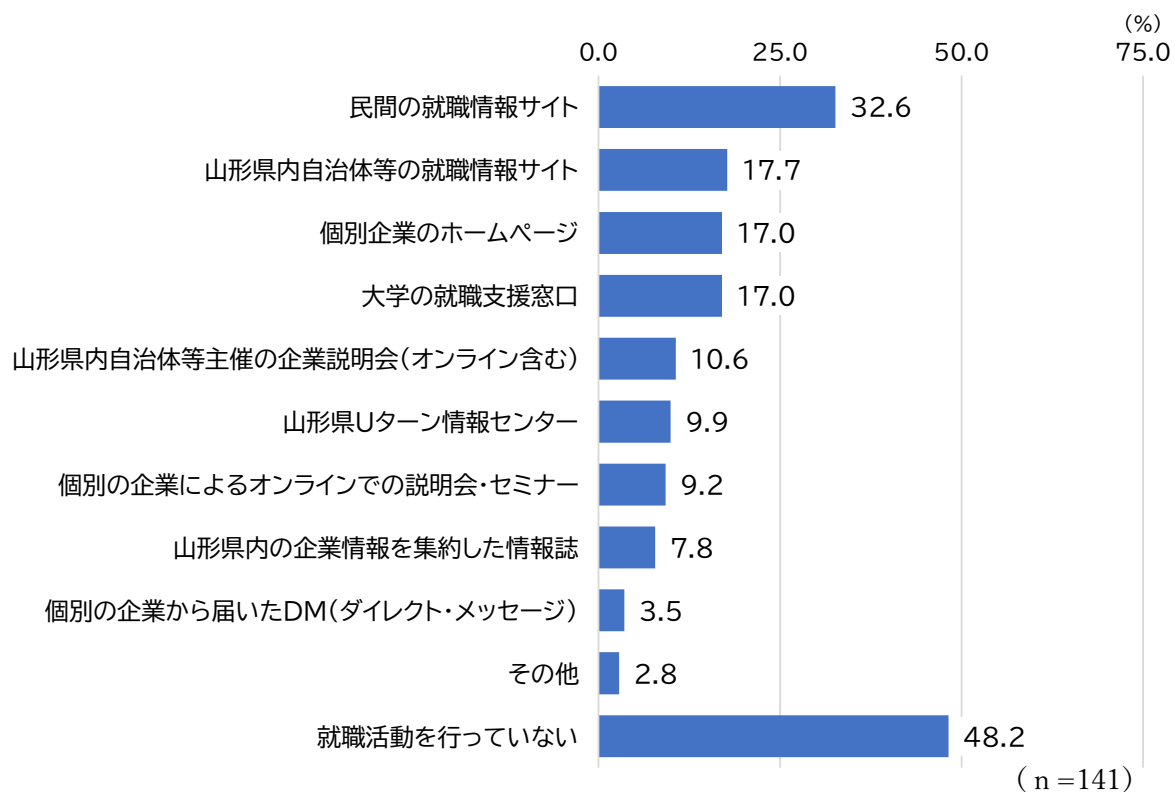
- Uターン者を積極的に採用する会社の情報があれば、不安が解消され、Uターンも進むのではないかと。
- 県内企業の就職情報で前面に出ている製造業では、管理部門等で文系出身者もいるだろうが、その情報を見つけづらく、文系が関心を持てる職種の情報を増やしてほしい。
- 山形の企業を調べると製造業が多いが、事務系など文系の仕事は上手く探せない。
- 会社の公式な情報だけでなく、社員の生の声による企業のリアルな姿を情報として知りたい。
- 行政による各種情報の案内をホームページで行っても学生は見つけづらいので、SNSによる発信を望む。
- 文字ばかりの情報ではなく、視覚的にポイントをアピールしたものなど分かりやすい情報提供を望む。

### 3. 就職活動について

#### 問13 山形県内企業の情報を得る方法・手段【MA】

問 就職活動で山形県内企業の情報を得るために利用する(利用した)方法・手段について以下の選択肢の中からお答えください。(複数選択可)

また、「その他」の場合は下欄に自由にお書きください。



##### その他の内容

- ・ 県内企業に特化した民間の就職情報サイト
- ・ 山形県のSNS
- ・ 山形県内の企業をみていない
- ・ 就職活動は行っているが山形県内の企業の情報は集めていない
- ・ 両親

山形県内企業の情報を得るための方法・手段について、「就職活動を行っていない」(48.2%)を除いてみると、「民間の就職情報サイト」(32.6%)の割合が最も高く、次いで「山形県内自治体等の就職情報サイト」(17.7%)、「個別企業のホームページ」(17.0%)、「大学の就職支援窓口」(17.0%)などとなっている。

上段:件数 下段:構成比(%)		問13 山形県内企業の情報を得る方法・手段 (MA)											
		合計	民間の就職情報サイト	山形県内自治体等の就職情報サイト	山形県内の企業情報を集約した情報誌	SEM(ダイレクト・メッ)	個別の企業から届いた	個別の企業によるオンラインでの説明会・セミナー	個別企業のホームページ	山形県内自治体等主催の企業説明会(オンライン含む)	大学の就職支援窓口	山形県Uターン情報センター	就職活動を行っていない
県外進学者		141 100.0	46 32.6	25 17.7	11 7.8	5 3.5	13 9.2	24 17.0	15 10.6	24 17.0	14 9.9	68 48.2	4 2.8
進学先	大学生	118 100.0	42 35.6	23 19.5	10 8.5	5 4.2	13 11.0	22 18.6	15 12.7	23 19.5	13 11.0	53 44.9	3 2.5
	1・2年生	61 100.0	13 21.3	7 11.5	5 8.2	2 3.3	4 6.6	6 9.8	6 9.8	5 8.2	3 4.9	45 73.8	0 0.0
	3・4年生	57 100.0	29 50.9	16 28.1	5 8.8	3 5.3	9 15.8	16 28.1	9 15.8	18 31.6	10 17.5	8 14.0	3 5.3
	その他	23 100.0	4 17.4	2 8.7	1 4.3	0 0.0	0 0.0	2 8.7	0 0.0	1 4.3	1 4.3	15 65.2	1 4.3
性別	男性	69 100.0	26 37.7	10 14.5	5 7.2	2 2.9	6 8.7	11 15.9	8 11.6	10 14.5	5 7.2	36 52.2	3 4.3
	女性	70 100.0	20 28.6	15 21.4	6 8.6	3 4.3	6 8.6	12 17.1	7 10.0	14 20.0	8 11.4	31 44.3	1 1.4
卒業した高校の所在地(地域)	村山・最上	75 100.0	24 32.0	14 18.7	7 9.3	2 2.7	7 9.3	12 16.0	8 10.7	12 16.0	7 9.3	38 50.7	2 2.7
	置賜	35 100.0	13 37.1	3 8.6	0 0.0	0 0.0	1 2.9	5 14.3	1 2.9	5 14.3	1 2.9	17 48.6	2 5.7
	庄内	31 100.0	9 29.0	8 25.8	4 12.9	3 9.7	5 16.1	7 22.6	6 19.4	7 22.6	6 19.4	13 41.9	0 0.0
学んでいる分野	文系	75 100.0	34 45.3	18 24.0	6 8.0	3 4.0	11 14.7	15 20.0	11 14.7	13 17.3	10 13.3	31 41.3	3 4.0
	理系	42 100.0	8 19.0	5 11.9	4 9.5	1 2.4	2 4.8	6 14.3	3 7.1	8 19.0	3 7.1	24 57.1	1 2.4
	その他	24 100.0	4 16.7	2 8.3	1 4.2	1 4.2	0 0.0	3 12.5	1 4.2	3 12.5	1 4.2	13 54.2	0 0.0
(参考) 県内進学者を含む全体		162 100.0	53 32.7	28 17.3	13 8.0	7 4.3	15 9.3	28 17.3	15 9.3	29 17.9	15 9.3	81 50.0	4 2.5

性別でみると、「民間の就職情報サイト」では「男性」の割合が「女性」より高くなっている。

文理別にみると、「民間の就職情報サイト」では「文系」が45.3%、「理系」が19.0%で「文系」が26.3ポイント上回っている。このほか、総じて「文系」が高いなか、「山形県内の企業情報を集約した情報誌」、「大学の就職支援窓口」のみ「理系」が「文系」より高くなっている。

参考までに、分母から「就職活動を行っていない」を除いたものを以下に示す。

参考 前頁の表のうち「就職活動を行っていない」を除いた場合(n=73)

上段:件数 下段:構成比(%)	合計	問13 山形県内企業の情報を得る方法・手段 (MA)										
		民間の就職情報サイト	山形県内自治体等の就職情報サイト	山形県内の企業情報を集約した情報誌	個別の企業から届いたDM(ダイレクト・メッ)	個別の企業によるオンラインでの説明会・セミナー	個別企業のホームページ	山形県内自治体等主催の企業説明会(オンライン含む)	大学の就職支援窓口	山形県Uターン情報セン	その他	
県外進学者	73 100.0	46 63.0	25 34.2	11 15.1	5 6.8	13 17.8	24 32.9	15 20.5	24 32.9	14 19.2	4 5.5	
進学先	大学生	65 100.0	42 64.6	23 35.4	10 15.4	5 7.7	13 20.0	22 33.8	15 23.1	23 35.4	13 20.0	3 4.6
	1・2年生	16 100.0	13 81.3	7 43.8	5 31.3	2 12.5	4 25.0	6 37.5	6 37.5	5 31.3	3 18.8	0 0.0
	3・4年生	49 100.0	29 59.2	16 32.7	5 10.2	3 6.1	9 18.4	16 32.7	9 18.4	18 36.7	10 20.4	3 6.1
	その他	8 100.0	4 50.0	2 25.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5
性別	男性	33 100.0	26 78.8	10 30.3	5 15.2	2 6.1	6 18.2	11 33.3	8 24.2	10 30.3	5 15.2	3 9.1
	女性	39 100.0	20 51.3	15 38.5	6 15.4	3 7.7	6 15.4	12 30.8	7 17.9	14 35.9	8 20.5	1 2.6
卒業した高校の所在地(地域)	村山・最上	37 100.0	24 64.9	14 37.8	7 18.9	2 5.4	7 18.9	12 32.4	8 21.6	12 32.4	7 18.9	2 5.4
	置賜	18 100.0	13 72.2	3 16.7	0 0.0	0 0.0	1 5.6	5 27.8	1 5.6	5 27.8	1 5.6	2 11.1
	庄内	18 100.0	9 50.0	8 44.4	4 22.2	3 16.7	5 27.8	7 38.9	6 33.3	7 38.9	6 33.3	0 0.0
学んでいる分野	文系	44 100.0	34 77.3	18 40.9	6 13.6	3 6.8	11 25.0	15 34.1	11 25.0	13 29.5	10 22.7	3 6.8
	理系	18 100.0	8 44.4	5 27.8	4 22.2	1 5.6	2 11.1	6 33.3	3 16.7	8 44.4	3 16.7	1 5.6
	その他	11 100.0	4 36.4	2 18.2	1 9.1	1 9.1	0 0.0	3 27.3	1 9.1	3 27.3	1 9.1	0 0.0
(参考) 県内進学者を含む全体	81 100.0	53 65.4	28 34.6	13 16.0	7 8.6	15 18.5	28 34.6	15 18.5	29 35.8	15 18.5	4 4.9	

山形県内企業の情報を得るための方法・手段について、「民間の就職情報サイト」(63.0%)の割合が最も高く、次いで「山形県内自治体等の就職情報サイト」(34.2%)、「個別企業のホームページ」(32.9%)、「大学の就職支援窓口」(32.9%)などとなっている。

性別でみると、「民間の就職情報サイト」では男女ともに5割を超えるが、「男性」が78.8%、「女性」が51.3%で「男性」が27.5ポイント上回っている。

## 【インタビュー調査結果の概要(ポイント)】

### ■ 県外進学者

#### 「民間の就職情報サイト」と回答した大学生

- 民間の就職情報サイトで県内企業を探すと少ないので、もう少し積極的に使ったら良い。
- 民間の就職情報サイトは、企業説明会の案内をもらえるとともに、企業との関わりも可能となるメリットがある。

#### 「山形県内自治体等の就職情報サイト」と回答した大学生

- 自治体の就職情報サイトは、表面上の情報が多く、企業の概略を知るうえでは役立ったが、深い情報は載っていないので、そこは他を活用した。

#### 「山形県内自治体等主催の企業説明会(オンライン含む)」と回答した大学生

- 民間の就職情報サイトの運営会社が主催する説明会には出てない県内企業の参加があり、役立った。

#### 「山形県Uターン情報センター」と回答した大学生

- 相談を聞いてもらうことに加え、東京に居ながら山形の情報を得られるなど、良かった。

#### 「その他」と回答した大学生

- 「Instagram」や「Twitter」といったSNSも使って情報を収集している。

このほか、これら方法・手段の改善や内容の充実などについて、以下のような話があった。

- コロナ禍を契機としたオンライン説明会は、遠方からの参加も容易であり、今後も続けてほしい。
- 企業の採用情報は、ただ羅列しないで、わかりやすさ、アピールポイントを絞って載せてほしい。
- 「YouTube」、「TikTok」、「Instagram」などSNSを活用して、県が中心となり発信できれば良い。
- 会社を訪問して得られるような一歩踏み込んだ深い情報が分かるものがあると良い。
- 山形県関係の情報は、理系の方が興味あるものを得やすいイメージがあり、文系向けの情報もわかりやすくまとめ、提供してほしい。

### ■ Uターン就職者

#### ○ 県内企業の情報を得るために利用した方法・手段

- 主な方法・手段は、民間就職情報サイトと大学及び民間主催の企業説明会。仙台での

合同企業説明会では、情報の提供を得て先に進めるほか、山形に比べて参加企業数が多く、比較ができて有効だった。

- 民間の就職情報サイトを運営する会社の就活情報アプリは、希望企業を主体的に見つける上で非常に便利だった。
- 大学では民間の就職情報サイトによる情報収集を勧めており、最も利用していた。
- 合同企業説明会について、関心のなかった業種の企業とも出会えて貴重だった。
- 山形県Uターン情報センターについて、実家に届いたチラシで知り、県内IT企業のリストアップ等で利用した。知らない企業の情報を得るなど満足度は非常に高かった。

#### ○ 改善・充実すべきこと

- 山形での合同企業説明会は仙台と比べ参加企業が少なく、中小企業をより多く集めて充実させると良い。
- 学生がよく利用する民間の就職情報サイトへの県内企業の登録を増やし、求人情報の更新もその都度行えば学生が見つけやすくなる。
- Uターン支援に関する山形県関係の情報は、大学の就職支援窓口にも掲示がほとんどなく、これらの情報に容易に接する機会がなく、把握しづらい。

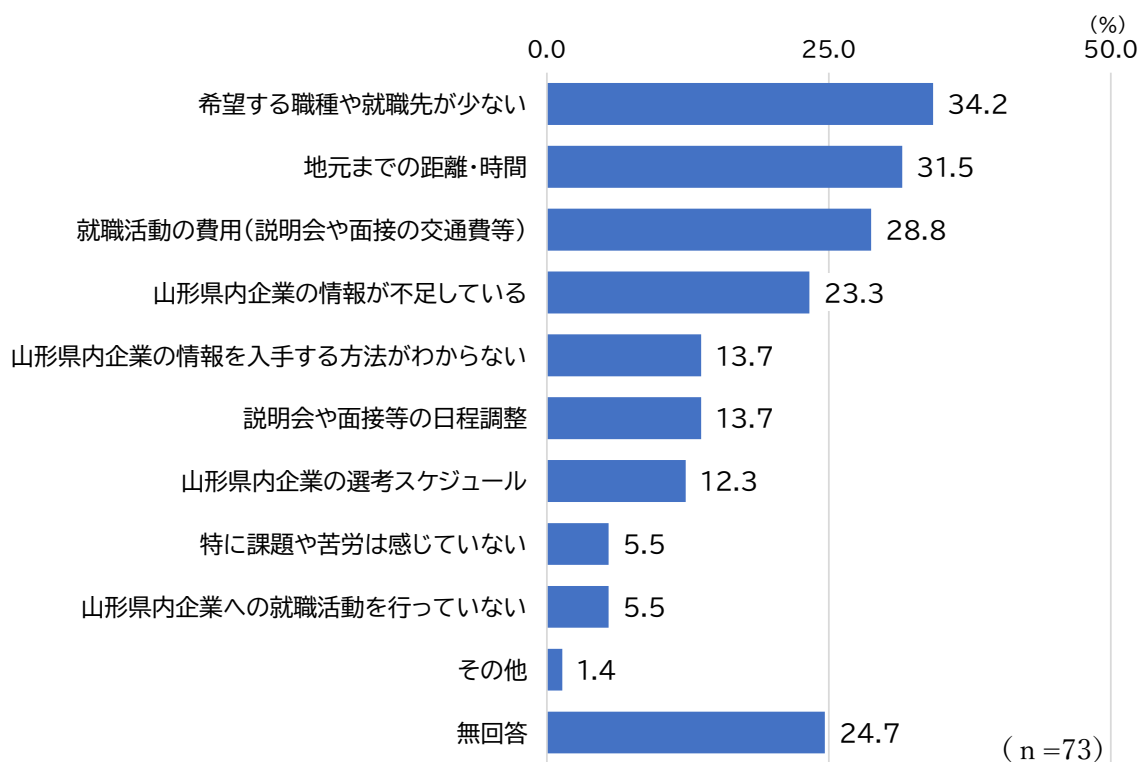


### 問14 山形県内企業への就職活動における課題・苦勞【MA】

問 問13で「就職活動を行っていない」以外の回答をした方にかがいます。

特に山形県内企業への就職活動で課題や苦勞を感じている(感じた)ことを以下の選択肢の中からお答えください。(複数選択可)

また、「その他」の場合は下欄に自由にお書きください。



山形県内企業への就職活動で課題や苦勞について、「希望する職種や就職先が少ない」(34.2%)の割合が最も高く、次いで「地元までの距離・時間」(31.5%)、「就職活動の費用(説明会や面接の交通費等)」(28.8%)、「山形県内企業の情報が不足している」(23.3%)などとなっている。

上段:件数 下段:構成比(%)		合計	問14 山形県内企業への就職活動における課題・苦勞(MA) ※問13で「就職活動を行っていない」を除く⇒就職活動を行っている											無回答	非該当
			や就職活動の費用(説明会や面接の交通費等)	地元までの距離・時間	希望する職種や就職先が少ない	山形県内企業の情報不足	山形県内企業の情報が入り手	山形県内企業の方法がわからない	説明会や面接等の日程調整	山形県内企業の選考スケジュール	特に課題や苦勞は感じていない	山形県内企業への就職活動を行っていない	その他		
県外進学者		73 100.0	21 28.8	23 31.5	25 34.2	17 23.3	10 13.7	10 13.7	9 12.3	4 5.5	4 5.5	1 1.4	18 24.7	68	
進学先	大学生	65 100.0	20 30.8	22 33.8	22 33.8	16 24.6	8 12.3	10 15.4	9 13.8	3 4.6	4 6.2	1 1.5	17 26.2	53	
	1・2年生	16 100.0	3 18.8	4 25.0	4 25.0	4 25.0	0 0.0	1 6.3	1 6.3	2 12.5	0 0.0	0 0.0	6 37.5	45	
	3・4年生	49 100.0	17 34.7	18 36.7	18 36.7	12 24.5	8 16.3	9 18.4	8 16.3	1 2.0	4 8.2	1 2.0	11 22.4	8	
	その他	8 100.0	1 12.5	1 12.5	3 37.5	1 12.5	2 25.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	1 12.5	15	
性別	男性	33 100.0	8 24.2	9 27.3	11 33.3	10 30.3	2 6.1	3 9.1	2 6.1	3 9.1	2 6.1	1 3.0	10 30.3	36	
	女性	39 100.0	13 33.3	14 35.9	14 35.9	7 17.9	8 20.5	7 17.9	7 17.9	1 2.6	2 5.1	0 0.0	7 17.9	31	
卒業した高校の所在地(地域)	村山・最上	37 100.0	11 29.7	13 35.1	12 32.4	8 21.6	8 21.6	8 21.6	4 10.8	3 8.1	3 8.1	0 0.0	8 21.6	38	
	置賜	18 100.0	4 22.2	6 33.3	6 33.3	4 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.6	0 0.0	1 5.6	6 33.3	17	
	庄内	18 100.0	6 33.3	4 22.2	7 38.9	5 27.8	2 11.1	2 11.1	5 27.8	0 0.0	1 5.6	0 0.0	4 22.2	13	
学んでいる分野	文系	44 100.0	15 34.1	16 36.4	13 29.5	12 27.3	7 15.9	8 18.2	7 15.9	3 6.8	2 4.5	1 2.3	11 25.0	31	
	理系	18 100.0	3 16.7	4 22.2	8 44.4	4 22.2	2 11.1	2 11.1	2 11.1	1 5.6	2 11.1	0 0.0	4 22.2	24	
	その他	11 100.0	3 27.3	3 27.3	4 36.4	1 9.1	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 27.3	13	
(参考) 県内進学者を含む全体		81 100.0	23 28.4	25 30.9	27 33.3	19 23.5	10 12.3	14 17.3	11 13.6	5 6.2	4 4.9	1 1.2	21 25.9	81	

性別でみると、「山形県内企業の情報入手方法がわからない」では「女性」が20.5%、「男性」が6.1%で「女性」が14.4ポイント上回っている。このほか、「山形県内企業の情報不足している」を除いて「女性」の割合が「男性」より高く、女性の方がより課題・苦勞を感じていることがうかがわれる。

文理別にみると、「就職活動の費用(説明会や面接の交通費等)」では「文系」が34.1%、「理系」が16.7%で「文系」が17.4ポイント上回っている。一方、「希望する職種や就職先が少ない」では「理系」が44.4%、「文系」が29.5%で「理系」が14.9ポイント上回っている。

参考までに、分母から「無回答」を除いたものを以下に示す。

参考 前頁の表のうち「無回答」及び「非該当」を除いた場合(n=55)

上段:件数 下段:構成比(%)	合計	問14 山形県内企業への就職活動における課題・苦勞(MA) ※問13で「就職活動を行っていない」を除く⇒就職活動を行っている										
		や就職活動の交通費用(説明会)	地元までの距離・時間	希望する職種や就職先が少ない	山形県内企業の情報が不足している	山形県内企業の情報が入り手	説明会や面接等の日程調整	山形県内企業の選考スケジュール	特に課題や苦勞は感じていない	山形県内企業への就職活動を行っていない	その他	
県外進学者	55 100.0	21 38.2	23 41.8	25 45.5	17 30.9	10 18.2	10 18.2	9 16.4	4 7.3	4 7.3	1 1.8	
進学先	大学生	48 100.0	20 41.7	22 45.8	22 45.8	16 33.3	8 16.7	10 20.8	9 18.8	3 6.3	4 8.3	1 2.1
	1・2年生	10 100.0	3 30.0	4 40.0	4 40.0	4 40.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0
	3・4年生	38 100.0	17 44.7	18 47.4	18 47.4	12 31.6	8 21.1	9 23.7	8 21.1	1 2.6	4 10.5	1 2.6
	その他	7 100.0	1 14.3	1 14.3	3 42.9	1 14.3	2 28.6	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0
性別	男性	23 100.0	8 34.8	9 39.1	11 47.8	10 43.5	2 8.7	3 13.0	2 8.7	3 13.0	2 8.7	1 4.3
	女性	32 100.0	13 40.6	14 43.8	14 43.8	7 21.9	8 25.0	7 21.9	7 21.9	1 3.1	2 6.3	0 0.0
卒業した高校の所在地(地域)	村山・最上	29 100.0	11 37.9	13 44.8	12 41.4	8 27.6	8 27.6	8 27.6	4 13.8	3 10.3	3 10.3	0 0.0
	置賜	12 100.0	4 33.3	6 50.0	6 50.0	4 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 8.3	0 0.0	1 8.3
	庄内	14 100.0	6 42.9	4 28.6	7 50.0	5 35.7	2 14.3	2 14.3	5 35.7	0 0.0	1 7.1	0 0.0
学んでいる分野	文系	33 100.0	15 45.5	16 48.5	13 39.4	12 36.4	7 21.2	8 24.2	7 21.2	3 9.1	2 6.1	1 3.0
	理系	14 100.0	3 21.4	4 28.6	8 57.1	4 28.6	2 14.3	2 14.3	2 14.3	1 7.1	2 14.3	0 0.0
	その他	8 100.0	3 37.5	3 37.5	4 50.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
(参考) 県内進学者を含む全体	60 100.0	23 38.3	25 41.7	27 45.0	19 31.7	10 16.7	14 23.3	11 18.3	5 8.3	4 6.7	1 1.7	

山形県内企業への就職活動で課題や苦勞について、「希望する職種や就職先が少ない」(45.5%)の割合が最も高く、次いで「地元までの距離・時間」(41.8%)、「就職活動の費用(説明会や面接の交通費等)」(38.2%)、「山形県内企業の情報が不足している」(30.9%)などとなっている。

性別でみると、「山形県内企業の情報が不足している」では「男性」が43.5%、「女性」が21.9%で「男性」が21.6ポイント上回っている。一方、「山形県内企業の情報入手方法がわからない」では「女性」が25.0%、「男性」が8.7%で「女性」が16.3ポイント上回っている。

## 【インタビュー調査結果の概要(ポイント)】

### ■ 県外進学者

「地元までの距離時間」、「就職活動の費用(説明会や面接の交通費等)」と回答した大学生

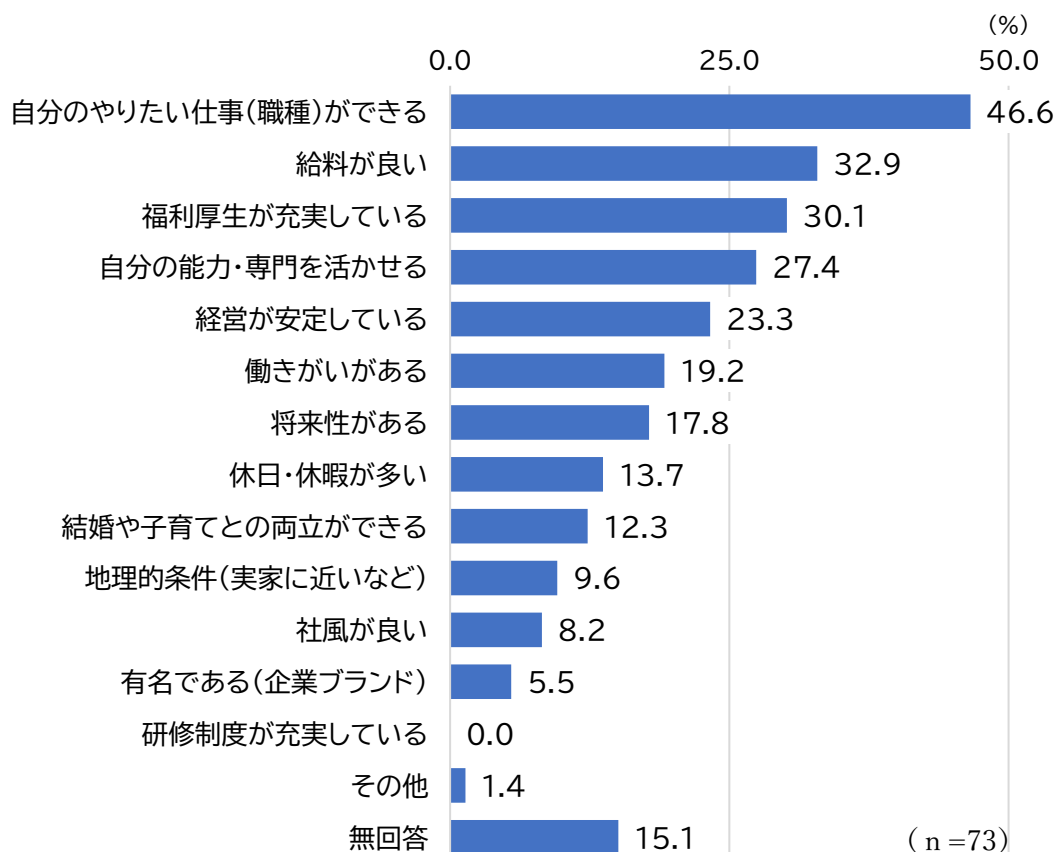
- Uターンの就職活動は何回も往復が伴い、時間・労力・経費の負担が大きかった。
- 就職活動は山形を含めた東北全体が対象で、新幹線利用など移動経費の負担が大きく、地方での就職活動の弊害になると感じた。
- 交通費助成は有効であり、制度を知ることが大切。周囲では、交通費負担のため山形での就職活動を減らしたケースもあり、面接回数などに応じた助成措置の拡充が良いと思う。

### 問15 仕事や企業を選ぶ際の軸【MA】

問 問13で「就職活動を行っていない」以外の回答をした方にかがいます。

仕事や企業を選ぶ際に、軸に据えて考えていることについて以下の選択肢の中から3つお答えください。(複数選択可(3つまで))

また、「その他」の場合は下欄に自由にお書きください。



仕事や企業を選ぶ際の軸について、「自分のやりたい仕事(職種)ができる」(46.6%)の割合が最も高く、次いで「給料が良い」(32.9%)、「福利厚生が充実している」(30.1%)、「自分の能力・専門性を活かせる」(27.4%)などとなっている。

上段:件数 下段:構成比(%)	合計	問15 仕事や企業を選ぶ際の軸 (MA) ※問13で「就職活動を行っていない」を除く⇒就職活動を行っている																
		活かせる 自分の能力・専門を	自分のやり たい仕事 (職種)が できる	働 き が い が あ る	経 営 が 安 定 し て い る	将 来 性 が あ る	有 名 で あ る (企 業 ブ ラ ン ド)	給 料 が 良 い	休 日 ・ 休 暇 が 多 い	福 利 厚 生 が 充 実 し て い る	研 修 制 度 が 充 実 し て い る	社 風 が 良 い	結 婚 や 子 育 て の 両 立 が で き る	地 理 的 条 件 (実 家 に 近 い な ど)	そ の 他	無 回 答	非 該 当	
県外進学者	73 100.0	20 27.4	34 46.6	14 19.2	17 23.3	13 17.8	4 5.5	24 32.9	10 13.7	22 30.1	0 0.0	6 8.2	9 12.3	7 9.6	1 1.4	11 15.1	68	
進学先	大学生	65 100.0	17 26.2	28 43.1	12 18.5	16 24.6	12 18.5	4 6.2	22 33.8	9 13.8	19 29.2	0 0.0	6 9.2	6 9.2	5 7.7	1 1.5	11 16.9	53
	1・2年生	16 100.0	5 31.3	5 31.3	3 18.8	2 12.5	4 25.0	3 18.8	5 31.3	0 0.0	1 6.3	0 0.0	0 6.3	1 6.3	0 0.0	0 0.0	6 37.5	45
	3・4年生	49 100.0	12 24.5	23 46.9	9 18.4	14 28.6	8 16.3	1 2.0	17 34.7	9 18.4	18 36.7	0 0.0	6 12.2	5 10.2	5 10.2	1 2.0	5 10.2	8
	その他	8 100.0	3 37.5	6 75.0	2 25.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0	2 25.0	1 12.5	3 37.5	0 0.0	0 0.0	3 37.5	2 25.0	0 0.0	0 0.0	15
性別	男性	33 100.0	11 33.3	17 51.5	5 15.2	7 21.2	10 30.3	2 6.1	11 33.3	2 6.1	6 18.2	0 0.0	2 6.1	2 6.1	2 6.1	0 0.0	7 21.2	36
	女性	39 100.0	9 23.1	17 43.6	8 20.5	10 25.6	3 7.7	2 5.1	13 33.3	7 17.9	16 41.0	0 0.0	4 10.3	7 17.9	5 12.8	0 0.0	4 10.3	31
卒業した高校の所在地(地域)	村山・最上	37 100.0	9 24.3	16 43.2	8 21.6	10 27.0	7 18.9	1 2.7	12 32.4	5 13.5	11 29.7	0 0.0	3 8.1	5 13.5	2 5.4	0 0.0	6 16.2	38
	置賜	18 100.0	6 33.3	9 50.0	3 16.7	4 22.2	2 11.1	1 5.6	6 33.3	2 11.1	4 22.2	0 0.0	1 5.6	3 16.7	3 16.7	0 0.0	3 16.7	17
	庄内	18 100.0	5 27.8	9 50.0	3 16.7	3 16.7	4 22.2	2 11.1	6 33.3	3 16.7	7 38.9	0 0.0	2 11.1	1 5.6	2 11.1	1 5.6	2 11.1	13
学んでいる分野	文系	44 100.0	8 18.2	20 45.5	10 22.7	12 27.3	10 22.7	2 4.5	13 29.5	7 15.9	12 27.3	0 0.0	5 11.4	5 11.4	2 4.5	1 2.3	7 15.9	31
	理系	18 100.0	7 38.9	8 44.4	1 5.6	4 22.2	2 11.1	2 11.1	8 44.4	3 16.7	6 33.3	0 0.0	1 5.6	2 11.1	2 22.2	0 0.0	2 11.1	24
	その他	11 100.0	5 45.5	6 54.5	3 27.3	1 9.1	1 9.1	0 0.0	3 27.3	0 0.0	4 36.4	0 0.0	0 0.0	2 18.2	1 9.1	0 0.0	2 18.2	13
(参考) 県内進学者を含む全体	81 100.0	24 29.6	38 46.9	16 19.8	17 21.0	13 16.0	4 4.9	24 29.6	11 13.6	27 33.3	0 0.0	8 9.9	9 11.1	7 8.6	1 1.2	13 16.0	81	

性別でみると、「福利厚生が充実している」では「女性」が41.0%、「男性」が18.2%で「女性」が22.8ポイント上回っている。一方、「将来性がある」では「男性」が30.3%、「女性」が7.7%で「男性」が22.6ポイント上回っている。なお、「給料が良い」は、男女とも同じ割合となっており、性別による差がみられない。

文理別でみると、「自分の能力・専門を活かせる」では「理系」が38.9%、「文系」が18.2%で「理系」が20.7ポイント上回っている。また、「給料が良い」では「理系」が44.4%、「文系」が29.5%で「理系」が14.9ポイント上回っている。

参考までに、分母から「無回答」を除いたものを以下に示す。

参考 前頁の表のうち「無回答」及び「非該当」を除いた場合(n=62)

上段:件数 下段:構成比(%)		合計	問15 仕事や企業を選ぶ際の軸 (MA) ※問13で「就職活動を行っていない」を除く⇒就職活動を行っている													その他
			活 自 分 の 能 力 ・ 専 門 性 を 活 か せ る	自 分 の や り た い し じ ょ う が で き る	働 き が い が あ る	経 営 が 安 定 し て い る	将 来 性 が あ る	有 名 で あ る ( 企 業 ブ ラ ン ド )	給 料 が 良 い	休 日 ・ 休 暇 が 多 い	福 利 厚 生 が 充 実 し て い る	研 修 制 度 が 充 実 し て い る	社 風 が 良 い	結 婚 や 子 育 て の 両 立 が で き る	地 理 的 条 件 ( 実 家 に 近 い な ど )	
県外進学者		62 100.0	20 32.3	34 54.8	14 22.6	17 27.4	13 21.0	4 6.5	24 38.7	10 16.1	22 35.5	0 0.0	6 9.7	9 14.5	7 11.3	1 1.6
進学先	大学生	54 100.0	17 31.5	28 51.9	12 22.2	16 29.6	12 22.2	4 7.4	22 40.7	9 16.7	19 35.2	0 0.0	6 11.1	6 11.1	5 9.3	1 1.9
	1・2年生	10 100.0	5 50.0	5 50.0	3 30.0	2 20.0	4 40.0	3 30.0	5 50.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0
	3・4年生	44 100.0	12 27.3	23 52.3	9 20.5	14 31.8	8 18.2	1 2.3	17 38.6	9 20.5	18 40.9	0 0.0	6 13.6	5 11.4	5 11.4	1 2.3
	その他	8 100.0	3 37.5	6 75.0	2 25.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0	2 25.0	1 12.5	3 37.5	0 0.0	0 0.0	3 37.5	2 25.0	0 0.0
性別	男性	26 100.0	11 42.3	17 65.4	5 19.2	7 26.9	10 38.5	2 7.7	11 42.3	2 7.7	6 23.1	0 0.0	2 7.7	2 7.7	2 7.7	0 0.0
	女性	35 100.0	9 25.7	17 48.6	8 22.9	10 28.6	3 8.6	2 5.7	13 37.1	7 20.0	16 45.7	0 0.0	4 11.4	7 20.0	5 14.3	0 0.0
卒業した高校の所在地(地域)	村山・最上	31 100.0	9 29.0	16 51.6	8 25.8	10 32.3	7 22.6	1 3.2	12 38.7	5 16.1	11 35.5	0 0.0	3 9.7	5 16.1	2 6.5	0 0.0
	置賜	15 100.0	6 40.0	9 60.0	3 20.0	4 26.7	2 13.3	1 6.7	6 40.0	2 13.3	4 26.7	0 0.0	1 6.7	3 20.0	3 20.0	0 0.0
	庄内	16 100.0	5 31.3	9 56.3	3 18.8	3 18.8	4 25.0	2 12.5	6 37.5	3 18.8	7 43.8	0 0.0	2 12.5	1 6.3	2 12.5	1 6.3
学んでいる分野	文系	37 100.0	8 21.6	20 54.1	10 27.0	12 32.4	10 27.0	2 5.4	13 35.1	7 18.9	12 32.4	0 0.0	5 13.5	5 13.5	2 5.4	1 2.7
	理系	16 100.0	7 43.8	8 50.0	1 6.3	4 25.0	2 12.5	2 12.5	8 50.0	3 18.8	6 37.5	0 0.0	1 6.3	2 12.5	4 25.0	0 0.0
	その他	9 100.0	5 55.6	6 66.7	3 33.3	1 11.1	1 11.1	0 0.0	3 33.3	0 0.0	4 44.4	0 0.0	0 0.0	2 22.2	1 11.1	0 0.0
(参考) 県内進学者を含む全体		68 100.0	24 35.3	38 55.9	16 23.5	17 25.0	13 19.1	4 5.9	24 35.3	11 16.2	27 39.7	0 0.0	8 11.8	9 13.2	7 10.3	1 1.5

仕事や企業を選ぶ際の軸について、「自分のやりたい仕事(職種)ができる」(54.8%)の割合が最も高く、次いで「給料が良い」(38.7%)、「福利厚生が充実している」(35.5%)、「自分の能力・専門性を活かせる」(32.3%)などとなっている。

性別でみると、「将来性がある」では「男性」が38.5%、「女性」が8.6%で「男性」が29.9ポイント上回っている。また、「自分のやりたい仕事(職種)ができる」では「男性」が65.4%、「女性」が48.6%で「男性」が16.8ポイント上回っている。一方、「福利厚生が充実している」では「女性」が45.7%、「男性」が23.1%で「女性」が22.6ポイント上回っている。

## 【インタビュー調査結果の概要(ポイント)】

### ■ 県外進学者

回答項目の優先順について、仕事の内容・質に関わる「自分の能力・専門を活かせる」「自分のやりたい仕事（職種）ができる」「働きがいがある」が優先し、次いで、「休日・休暇が多い」「経営が安定している」「福利厚生が充実している」などの話があった。

	1位	2位	3位
Aさん	働きがいがある	自分の能力・専門を活かせる	福利厚生が充実している
Bさん	働きがいがある	社風が良い	休日・休暇が多い
Cさん	「企業の理念に共感できるか」を軸に就職活動を行ったその他、「業務内容」や「そこで働く人」を軸に考えた。		
Dさん	自分のやりたい仕事（職種）ができる	給料が良い	福利厚生が充実している
Eさん	自分のやりたい仕事（職種）ができる	経営が安定している	福利厚生が充実している
Fさん	自分の能力・専門を活かせる	自分のやりたい仕事（職種）ができる	経営が安定している

※網掛けは仕事の内容・質に関わる項目

### ■ Uターン就職者

#### ○ 仕事や企業を選ぶ際に考慮に入れたこと

仕事や企業を選ぶ際に重視したことについて、自分がやりたい仕事、経営の安定性、社風、給料、働きやすい制度や研修等の勤務条件などを挙げている。

- 希望の業種がコロナ禍の影響を受けたので変更し、経営の安定性・将来性を重視した。
- 学生時に留学して外国人とのコミュニケーションに魅力を感じ、グローバルに働ける点も考慮した。
- 休暇のとりやすさなどの前提となる社風、ワークライフバランス、やりたい仕事を総合的に考慮した。

#### ～関連事項～

#### ○ 県内企業の入社の決め手

- 食品系と農業に興味があり、大学での専攻（機械設計）を活かせる農業機械メーカーに入社した。
- インターンシップや会社説明会で社員の楽しく、明るい雰囲気を感じた。
- 若い人も最前線で活躍し、年齢・性別に関係なく成長できる環境だと思った。

#### ○ 仕事について感じたこと

- 仕事先が見慣れた町で、知っている人もいて、地元で働けることにやりがいを感じる。
- 機械の技術者として顧客となる業界のことなど学ぶ機会が多く、自分のスキルアップ



にもつながっており、やりがいを感じている。

- 自分が手掛けた仕事の成果を顧客に披露し、反応を直接感じることができるので、良い経験になっている。